

横須賀

2025年9月28日(日) 10:00~17:00 予定

防災

山本理顕
展

コミュニティと建築
2025.7.19 Sat. - 11.3 Mon.

RIKEN YAMAMOTO
EXHIBITION
Community and Architecture

開催場所：横須賀美術館 ワークショップ室+ロータリー

〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居4-1

主催：一般社団法人地域社会圏研究所

協力：横須賀市、エレコム株式会社、佐川急便株式会社

フェア

横須賀
美術館
YOKOSUKA
MUSEUM OF ART

 Local
Area
Republic

横須賀 防災 フェア

豊かなコミュニティによって守られている町は防災能力が強い！
これは実際に阪神・淡路大震災でも、東日本大震災でも、実証されています。神戸では主に一階部分が破壊されました。二階が一階になってしまうような状態です。「あの二階部分にはおばあちゃんが寝てたはずだ」と近くに住む人が気づきました。すぐに救助に向かうと確かにおばあちゃんは布団の中でまだ健在でした。町が燃え広がる前に救助されたという話を聞きました。普段から、お互いに助け合って住んでいる人たちの町では、確かに被害は最小限に抑えられるのです。防災とはコミュニティをつくることです。 — 山本理顕

今年は阪神・淡路大震災から30年が経過した節目の年です。
また、南海トラフ巨大地震など、国難級の災害が今後30年以内に80%の確率で発生するという調査結果も報告されており、より一層、横須賀市民の方々に防災への意識を高めていただく為に「横須賀防災フェア」を開催いたします。



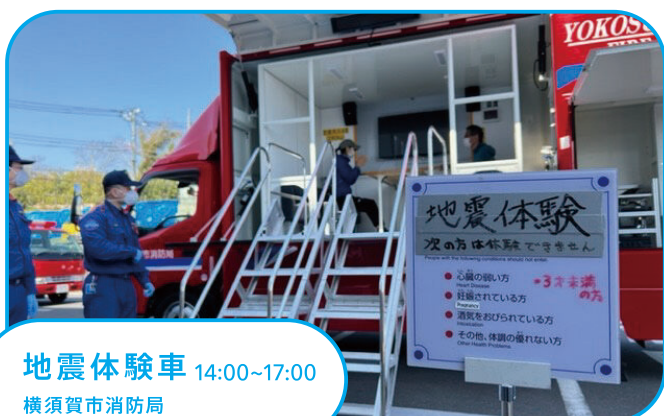
津波シェルター
東京理科大学 高橋治教授

東日本大震災の時に突きつけられた現実、津波から逃げる時間がない地域があるということでした。小さな子どもや高齢者と走ることは難しく、どうすれば良いのか。そうした逃げられない人を守るための津波シェルター。発報スチロールにポリウレタ加工をしたことで、約900kgの車を落としても壊れない耐久性があります。



木造耐震シェルター
東京理科大学 高橋治教授

家屋が崩壊してしまっても、瓦屋根の重さにも十分に耐え得る4畳半ほどの大きさの木造耐震シェルター、命や大切な物を守ることができます。耐震工事が数ヶ月で数百万かかるのに比べて、1日の工事で費用も100万程度。



地震体験車 14:00~17:00
横須賀市消防局

前後、左右、上下の動きを再現する振動装置により、地震の揺れをリアルに体験できます。地震発生時に適切な行動がとれるよう、適切な行動を学ぶ体験学習の機会です。VRゴーグルとの連携により、よりリアルな臨場感のある体験が可能になりました。 ※雨天中止

サバイバルフーズ
東京理科大学 高橋治教授



一般的な非常食では保存期間が短い為、常にかえ替えをしなければならなかったのが25年という世代を超えて共有できる防災食です。また、レストランの品質の味わいで、非常時だから我慢するという概念を覆します。

ARによる消火体験 10:00~17:00
横須賀市消防局



火災時に大切な初期消火を今いる屋内で実施できる方法
火災の煙が発生する疑似火災の状況を映像で体験
言葉だけでは伝えられない、危機感を多くの人と共有することができる訓練

防災協定関連展示

- エレコム株式会社
 - ・バッテリーやモバイルソーラー充電器等
 - ・防災懐中電灯や家具転倒防止器具
- 佐川急便株式会社
 - ・災害活動の展示パネル設置
 - ・実際のトラックからの荷卸し体験 ※雨天中止



山本理顕 建築家

1968 日本大学理工学部建築学科卒業
1971 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了
1973 東京大学生産技術研究所原広司研究室研究研究生
株式会社山本理顕設計工場 設立
2024 横浜国立大学 名誉教授・名誉博士



高橋治 東京理科大学 教授

1989 東京理科大学工学部建築学科卒業
1991 東京理科大学工学研究科建築学専攻
1991-2015 株式会社構造計画研究所
2015- 東京理科大学工学部建築学科教授
東京理科大学ベンチャー企業
株式会社サイエンス構造会長